

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 エーアイエム	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 えいむの丘
所在地	(〒 424-0865) 静岡県清水区北矢部780-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」を柔軟に組み合わせて「住み慣れた地域で安心して暮らせる」を実現します。
胃ろうや点滴などの医療管理が必要な方、退院直後で、自宅での生活に不安のある方、回復期で、リハビリが必要な方、在宅での看取りを希望する方など、複数の協力医と協働し、看護・リハビリ・介護介入により、在宅生活を支えています。
通いサービス等で顔を合わせる顔見知りの職員が訪問に行き、体調によって通いから訪問・泊まりへの切り替えが可能な為、その方に合ったサービス提供の実現が出来、安心して在宅生活を送れます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023年 12月 4日	従業者等自己評価 実施人数	(10) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】 ※新型コロナウイルスの影響でリモートでの会議を実施(書面・聞き取り対応)

実施日	西暦 2024年 1月 17日	出席人数(合計)	(配布: 9) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員(5人) <input type="checkbox"/> 市町村職員(人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者(1人) <input type="checkbox"/> 利用者(人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(2人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(人) <input type="checkbox"/> その他(1人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	コロナが落ち着いてきた中で、いつまた感染者が出るかわからないので、災害に対しての防災訓練以外にも、感染症対応についても定期的に発生時の対応を訓練していきたい。	地震災害の訓練や災害発生時の職員の初動や会社としての参集基準等を会議を利用し話合った。感染症については実際利用者や職員に陽性者や発熱が出た際には看護師中心に抗原検査の実施や利用者のスケジュール調整等を迅速に行った。	常に最悪の事態を考えた取り組みをしていることはこれからも継続してください。 先手を取った対応がうかがえて良い。	
	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	介護記録は、現在手書きの書面を使用しているが、記録する人によっては、ケア内容のみでその時に発声した利用者様の言葉や表情について等、その日いない職員でもその状況が浮かぶような記録の書き方など、介護記録をつかって情報共有がもっとされるよう工夫していきたい。	医療ニーズの高い方が多いため、間隔をあけて飲まなければならない薬や状態によって内服する薬が多様な為、記録には時間と飲むまでの経緯等を確実に記入し、内服した際にはマーカーで色を付ける等記録をわかりやすくするようにした。今後も記録の書き方のばらつきを少しでも減らし職員間での情報共有がスムーズになるよう改善したい。	記録は記入した人以外が読んで初めて活用された事になります。今後も組織内で書き方を共通化する取り組みを続けて下さい。 画一的にすることのできない様々な要求に応じることが出来る手段である。情報共有の大切さがわかる。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	医療依存度の高い方、看取りの方が多い中で、食事での栄養が十分に取れない場合、褥瘡になるリスクが高いため、除圧や拘縮に対して職員がもっと知識を増やし、看護と連携しながら検討する機会を多く作りたい。	褥瘡がある方または褥瘡になるリスクの高い方に対しての寝ている時のクッションの当て方や除圧すべきポイント等をその都度看護師が指導に入ってくれたので褥瘡がひどかった利用者様も治った事例も複数あった。続けていきたい。	看取りの利用者の方に対しても細かな配慮をしながらも、ご家族を含めた精神的フォロー等もお願いします。 丁寧な対応が良い結果を生んでいるようで良い。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	コロナ禍で外出機会が大きく減った数年だったが、感染が減ってきた中で外に出る機会、外に出る事地域の人々や子供・動物・植物・・・様々なものと触れ合える機会を作りたい。	三密をさけながら、天気の良い日に外へ散歩をしたり、短い時間で個別の外出機会を作ったりと、感染対策をしながら外に出る機会を作れた。	様々な方との交流機会が持てるようによろしく願います。 制約の多い中で楽しみな時間がとれているようで良い。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ケア会議を利用して利用者の現状把握や今後のケアについて、必要なサービス提案をより細かく話していく。必要に応じて個別でのマニュアル作成。	訪問時のマニュアル作りや写真を使ってケアの方法をよりわかりやすく、どの職員がやっても同じになるよう努めた。	職員によるサービスの質にバラツキは出ないよう、これからもマニュアル等の活用をお願いします。 わかりやすいのはとても大切。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	BCP 委員会で感染症(コロナ)対応から元々進めていた災害対策へ切り替え 作成が進められた。利用者や職員でコロナやインフルエンザ陽性者や疑いが 出た際には、ゾーニングやスタッフの配置等の対応は迅速にできたと思う。	災害対策について BCP 委員以外のスタッフも日頃から防災の意識、 対策のための定期的な物資の点検や利用者の情報の更新等の必要 な取り組みに参加する為に作業の振り分けを行いスタッフ全員で活動 を進めて行きたい。	
II. サービス 提供等 の評価	1. 利用者等の特 性・変化に応じた 専門的なサービ ス提供 (評価項目 11～ 27)	看護多機能の利用者には癌や命に関わる疾患をお持ちの方も多い 為、日々のちょっとした変化にも職員が看護師に報告をするように職員 の意識が以前より少しずつ変わった様に感じる。日々のケアでのヒヤリ ハットに目をむける事が多いが、良いケアをしていたスタッフの事やこう すると良い等の成功例をもっと共有できるようにしていきたい。記録上 では伝えきれない、利用者との関わり方等を職員同士で共有したい。	ケア会議等を通して、ケアに対する成功例をスタッフに共有するよう にしたい。看護師から日々のケアでの看護師目線からの注意点をスタッ フに伝えるようにしたい。
2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ～31)	医療依存度の高い方、看取りの方が多い中で、食事での栄養が十分 に取れない場合褥瘡になるリスクが高いため、除圧や拘縮に対して職 員がもっと知識を増やし対応できるよう看護師・理学療法士中心にクッ ションの当て方等を写真で共有しながらケアに反映させた。	褥瘡のリスクに対して、・スタッフが気にして観察すること、不安な部分 に対して看護師に報告し指示をもらうこと、その事例をスタッフ全員に 共有する事をさらに徹底していきたい。	
3. 誰でも安心し て暮らせるまち づくりへの参画 (評価項目 32～ 41)	コロナ前の状況まではいかないが、個別や少人数での外出機会を作 って、利用者様に外出することの楽しさや自分で店頭に出向き商品 を選ぶ等のレクリエーションを実施した。施設内にボランティアを招きマジ ック等の催し物はまだ開催できておらず感染対策しながら実施したい。	感染対策をしながら住み慣れた街を散策したり、普段行かない場所 での食事や買い物、動物や人との触れ合い機会を増やしていきたい。	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	介護経験の少ない若手スタッフは医療依存度の高い利用者様に 対してはまだどうして良いかわからない部分もあり、その際には看 護師が助言や細かい指示をすることで不安が少しでも減るよう対 応してきた。	看取りの方の対応が必要な時に、日中の対応と夜間の対応が分かり やすくなるように、どんなバイタルサインだったらこんな対応をする、時 間帯での連絡先の確認等、細かく指示をもらうようにして対応してい きたい。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				これからも継続してください。 安心できるということは入居している人にもご家族にとってもとても大切なポイントであり、それを踏まえてケアされているといことはとても良い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			これからも継続してください。 理解・納得して行動されているようで良い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している				○	全職員に研修機会を作っていたらと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 全ての職員に個別研修計画を立て随時研修への参加をしてきたが、コロナで数が減ってから参加数は減ったままになっている。BCP 委員会で決定事項はケア会議の際共有の場を設け職員同士での意見交換を行っている。</p>				感染症の多い中での研修参加はなかなかハードルが高いと思われる。	
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している				○	出来る限り研修機会をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ZOOMを使った研修等には一部のスタッフが参加をした。また、研修においては、研修日を出勤扱いとし、費用の負担も行っている。新人スタッフの研修参加を増やしていきたい。</p>				ZOOMの利用はとても良いと思う。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				これからも継続してください。 情報共有の大切さがわかる。良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容] 介護支援専門委員が現場でケアを行っている為、職員との情報の共有をしている。看護職においては日中フロアへ入るよう配置しており、毎月行うケア会議へも参加している。各部署その日のリーダーは1日の状況報告を毎日17時に代表に報告し日々の連携の確認に努めている。朝の申し送りも看護職も交え行い、申し送りノートの確認も徹底している。必要であれば随時スタッフラインを使用し情報の共有を計っている。							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○			タイムリーに返答できるよう心掛けてください。 時間がかかることにもちゃんと返答しているようで良い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ご家族からの要望・助言については、その場で応えられるものはすぐ応え、時間を要する事項については、 個々での書面を使っての返答を行っている							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○				これからも働きやすい環境を続けてください。 臨機応変に対応しているようで良い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
〔具体的な状況・取組内容〕 職員一人一人に勤務時間・勤務日等の聞き取りをしている。子育て等配慮し、学校行事等へ参加できるよう職員同士協力している。家族にコロナにおける出勤・登校停止等が必要になった場合には勤務変更を適宜行い対応してきた。職員も利用者の人数や現場の状況に応じて自ら協力する人も多く、職員同士で協力できている。感染症対策は徹底し換気・消毒を行い職員が安心して仕事ができる環境づくりをしている。							
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			適宜行ってください。 更新大切。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
〔具体的な状況・取組内容〕 利用者の状況も日々変化する為、変更があった場合はすぐに対応している。半年に1回の再アセスメントを行っている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			<p>個々利用者に対するアセスメントが大切だと思います。</p> <p>リスク回避に努めているようで良い。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<p>防災対策やBCP等実態に合った訓練等をこれからも続けて下さい。</p> <p>必要なものが変わっていることもあるので、見直し・訂正されているようで良い。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
I. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(I) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			24 時間の対応は大変なことも多いかと思いますが、これからも継続していただければと思います。 24 時間体制をとられているのは大きな安心になると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている		○			これからも多職種連携をお願いします。 情報が共有されていて良い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている			○		相談しやすい環境を続けてください。 早い対応が、ご家族の安心と信頼に繋がっていると思う。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] 家族・利用者の考えを聞く場を持ち把握に努め、利用状況の見直し等、直ちに実践をしている。顔見知りのスタッフが多い分、ご家族から相談しやすい雰囲気を作れていると思う。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている			○		多職種連携した対応をこれからも続けてください。 回復や向上に向けてやっているようで良い。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] 理学療法士との連携を図り、利用者に応じたりハビリ等を行っている。看護・理学療法士・介護3種との意見交換も積極的に行い、計画を作成している。 個別の機能訓練等の話し合いやマニュアル作りを今後強化していきたい。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている			○		<p>予測できないリスクもあるかと思いますがよろしくお願ひします。</p> <p>先を見据えた予測で良いと思う。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			<p>医療との連携もこれからもしっかりと願ひします。</p> <p>日常の把握と早めの対応、良いと思う。</p> <p>往診医との連携がされているのは家族にとっても安心。</p> <p>早めの対応は難しいことだけどそれはされていると安心する</p>	<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

[具体的な状況・取組内容]

看護の指示のもと利用者にとって予測リスク等配慮し利用者この状態の把握に努めケアを行っている。必要に応じて看護師から介護職員へ利用者を交え注意すべきことの説明・指導等を行っている。

[具体的な状況・取組内容]

利用者の日々の状況を把握し必要に応じ、個別のバイタル表を作り1日に必要なバイタルチェックを行い書面化し看護との連携を図っている。変化があったときには看護への報告をし、連携を図るよう心がけている。受診の際も主治医に変化等が伝わるよう書面化し伝えている。往診医にも状態の報告を適宜行い早めの対応をしている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				<p>利用者の状態や介護の状況等が変化した際も、変化に応じた対応を継続してください。</p> <p>本人と家族の要望に合うものを提供されているようで良い。</p> <p>サービスを柔軟に切り替えてくれるのは助かる。</p> <p>自宅で一人の時間が短くなればその分家族は安心する。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				<p>これからも継続してください。</p> <p>主治医の存在も近く感じられるようで良い。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

[具体的な状況・取組内容]

利用者・ご家族の意見・要望を把握し、一番良い支援を選択し必要なケアを提供できるように努めている。通いの利用日であっても利用者の状態・要望に合わせ訪問サービスへ切り替え対応をしている。その際、家族からの聞き取りや生活環境把握を行い、必要に応じて助言や話し合いを行っている。

[具体的な状況・取組内容]

看護・介護の意見を互いに出し、主治医との相談を図っている。また、カンファレンスに参加し多職種との情報の交換や話し合いの場を設けている。協力医の先生へも相談や報告を細かく行い助言や指示を受け、ケアに反映している。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				これからも継続してください。 丁寧な対応がされているようで良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				これからも継続してください。 連携がとれているようでとても良い。 経験や知識の多い職員さんがたくさんいることは安心できる材料になると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

[具体的な状況・取組内容]

看護師が直接利用者のケアに携わり介護と一体化しケアに努めている。また、利用者様に変化に気づいた時にはすぐに看護師に報告するよう徹底されており、柔軟・迅速な対応がとれている。適宜看護師からその日の対応の仕方等を書面も使い指示を出してもらい対応している。

[具体的な状況・取組内容]

日頃、看護・介護相互に情報を共有できている。その利用者には今何が必要でどうしたら良いのか介護だけでは判断できない所を看護職がいることで判断・指示提案をしている為、連携がとれている。また、日頃医療ニーズの高い利用者との関わりも多く看護も身近な為、介護スタッフも介護だけでなく医療に対しての経験や知識も増えてきている為迅速な対応が以前よりできてきている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	○				これからも継続してください。 安心されていると思います。 看護師さんと介護される方との 連携がとれていることは良いこ とだと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>日中、看護師が必ずフロアに来て利用者の健康状態等を確認し必要に応じて介護職へ指示を行っている。介護スタッフ全員が周知出来るよう個別に指導する事もある。看護師の指示がある為、介護職も不安なくケアを行うことができ、結果良いケアにも繋がる。看護師が常にいることで介護士の不安も減り役割も出来るためケアに良い影響を与えている。訪問のみの利用者には、その方に合わせて看護師が月に1回以上は自宅に訪問し体調の確認やケアに入っている。</p> <p>急変時や熱発時の対応方法等についても、頓服の服用タイミングや時間について目安である体温数値を提示し介護職が迅速に対応できるよう準備をしてくれる為不安が少なく対応できていた。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			利用者・ご家族がしっかり理解できるように説明をお願いします。 ご家族も安心すると思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者・ご家族には十分な説明時間をとり、不安がないような説明を心掛けている。必要であれば利用方法を数パターン用意し様々な利用方法の提案説明を行っている。不安を感じた際や要望があった際は随時話し合いの場を設けている。計画した利用を開始してみても改善すべき部分のご家族と相談し適宜変更している。</p>					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			これからも継続してください。 良いと思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の自宅へ訪問し、在宅生活を継続して行く上で、生活環境・身体状態等を配慮し、直接利用者・ご家族への説明の機会を作っている。在宅での不安を福祉用具を使うことで安心に変えられる場合もあるので福祉用具の担当者にも適宜相談している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				これからも継続してください。 分かりやすく良いと思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>それぞれの立場から必要な説明を随時行っている。 退院後自宅の環境整備の間泊まりサービスを使っている際は、泊まりサービス中に在宅へ戻った際のケアの方法や医療処置の方法をご家族と一緒にいき、介護と看護で指導・助言をしている。オムツ等の衛生材料についてもサンプルを見せて使いやすい物の提案をはかっている。</p>							
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○				これからも継続してください。 安心してサービスを受けていると思う。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者・家族の尊厳を重視し、聞き取りを十分に行った上で書面化しサービス提供を行っている。</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	○				これから継続してください。 話しあいがもたれていて良いと思う。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の状態に合わせ必要に応じ話し合いを行い方針等について相談・共有をしている。環境変化の少ない同グループホームへの移行等については、ご本人・ご家族の思いを充分配慮しながら行っている。</p>					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○				これから継続してください。 良い最期が迎えられよう努めているようで良いと思う。 終末期ケアは家族いとしても辛いものがあると思うので大変だともうがちゃんとしてくれているようで家族も安心だと思う。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医・看護・介護での連携を図り利用者・家族にとって最も良い終末期が迎えられよう努めている。記録としては、看取りについては看取り介護計画書を作成し家族に確認・説明している。ご希望の場合は感染対策を徹底し個室での対応をとりご家族と面会を実施している。ビデオ通話を使った面会も行っている。家族の健康状態を踏まえ配慮しながら負担になり過ぎないような終末期ケア行っている。</p>					
2. 多機関・多職種との連携							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				これからも継続してください。 スムーズに移行できているようで良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			主治医との連携をこれからも深めてください。 連絡がとれているのがよい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			この体制を維持することは大変かと思いますが、さらに強固なものにしてください。 安心できる。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 特に終末期の利用者の休日・夜間の急変を予測し事前に連絡を取り対応している。事前に看護師が往診医と連絡をとり対応の仕方・薬の指示等をもらい職員に共有、ご家族とも連絡をとるようにしている。 訪問看護では 24 時間対応の看護師は交代制であり代表には365日・24 時間電話連絡できる体制が作られている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている			○		コロナ禍よりZOOMにて継続されていたことは大変だと思っています。 ZOOMは良いと思う。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> zoom を利用しての会議の開催や書面での通知や必要な聞き取りを行い対応した。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		<p>対策をお願いします。</p> <p>情報の発信とプライバシー保護は難しい。</p> <p>情報発信をたくさんしてくれると家族は安心できると思う。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		<p>以前のように戻るよう期待しています。</p> <p>マージャンをきっかけにえいむ祭りの再開、また楽しくできると良いですね。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>

[具体的な状況・取組内容]
議事録を书面化し、職員は見る事が出来るようになっているが、プライバシー保護の観点から誰でも見ることが出来るような方法では行っていない。

[具体的な状況・取組内容]
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止によりえいむ祭り中止後現在も開催していない。
啓発活動においてはコロナの影響で中止していた健康マージャンを再開。毎週木曜日地域交流室で実施。地域の方が集まり楽しんでマージャンをしております好評頂いている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				これからも継続してください。 良いと思う。 看護が充実してるのは良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				これからも継続してください。 安心できると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている		○			今後も在宅生活の継続を願 いします。 安心できると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	○				これからも継続してください。 安心できると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

[具体的な状況・取組内容]

協力医・看護体制が整っているため「人工呼吸器」を必要とする利用者は現在いないが、必要に応じて受け入れは可能である。

[具体的な状況・取組内容]

看護を中心とし、主治医・協力医の連携が図れるので体制が整っており積極的に受け入れをしている。介護スタッフも医療ニーズの高い利用者に関わる事が多く、また看取りケアの経験があるスタッフも多い。看護との連携もとりやすい為、介護・看護ともに体制が整っている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している				○	<p>今後に期待しております。</p> <p>仕方のないことと思います。</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</p>
③ サービス提供における、(特定の建物等に限定しない)地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			<p>これからも継続してサービス提供をお願いします。</p> <p>広域に対応できるようで良い。</p>	<p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</p> <p>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
④ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている			○		ご本人のやる気を取り戻せるよ うな支援を続けてください。 楽しみをあきらめなくても良く なって良かった。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取 組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た 情報や知見、多様な関係者とのネットワ ーク等を活用し、必要となる保険外サー ビスやインフォーマルサービスの開 発・活用等、利用者等のみでなく地域に おける課題や改善策を関係者に対して 提案していくなどの役割も期待される
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出しや 向上のための具体的な取組 等が行われている		○			在宅生活を続けられるよう、こ れからも継続した支援をお願 いします。 頼れる存在のようで良い。 積極的な関わりは家族にとっ ても有りがたい事だと思う。	<p>今後は、利用者への家族等や近隣住 民の関わりを促しながら、関係者全 員の介護力を最大限に高めること により、在宅での療養生活を支えて いくための環境を整えていくなど の役割も期待されます</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>退院後在宅復帰を目標とし、すぐに在宅での生活が困難な為、看護小規模多機能を利用し、身体的・精神的様々な面より考え在宅復帰達成した利用者も数多くいる。また、介護力のない家族の介護負担の軽減も行っている。計画し在宅に戻られてからは利用者・家族それぞれに無理なく在宅復帰が出来るか随時確認し、必要であれば見直しを行いその人に合ったケアの提供を行っている。その方に合った利用方法を一緒に探して住み慣れた地域での安心した暮らしのサポートに努めている。</p>	<p>これからも本人・ご家族に合った、また負担が少なく継続可能な支援をお願いします。</p> <p>在宅の介護はハードルが高いと思われるが、サポートして頂けると心強いと思う。</p> <p>在宅へ戻ってあげたい気持ちと仕事をしながらの介護の両立、難しい課題が沢山あると思うので相談にのってもらえるのは良い事だと思う。</p>	<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
⑤	在宅での療養生活の継続に対する安心感			
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 病院退院時に療養型施設を勧められていたが看多機に登録し在宅生活が継続出来ている。以前は体調変化により入退院を繰り返していたが、今は入院せずに在宅生活を送れているケースもあり、安心してもらえている。病院からは在宅復帰は難しいと他病院への転院を勧められていたが、看護多機能で医療的ケアを受けながら在宅での生活も出来ているケースもある。利用方法についてはその方に合った柔軟な対応がとれる為、介護者の介護負担にもつながっている。 体調変化や皮膚の状態等の変化に対して、迅速な対応ができていて事で医師からの指示も早く出て対応出来るため、ご家族の不安を抑えることができているように感じる。職員の知識をもっと増やし、変化に気づく力をもっと身につけていきたい。</p>	<p>これからも継続支援をお願いします。</p> <p>様々なケースに対応してもらええる安心感、ありがたいとご家族は感じていると思う。</p> <p>柔軟な対応は家族にとってもありがたいと思う。</p> <p>在宅復帰はできている方が多いと自信にも繋がる。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>終末期には細やかな意思の確認と説明を行い、場合によっては医師からの説明も促しよりよい看取りができるように援助している。えいむの丘での看取りを希望される利用者も多い。病院では好きな物を食べれずいたのが、えいむでは好物を楽しむ程度ではあるが食べる事ができたり、人間らしく最期を迎えられたと思うとの言葉を頂いたりもした。感染症の影響で病院の出入りが難しい中えいむでの看取りをご希望され退院された利用者様もいる。最期に顔を見て過ごすことができたご家族様も多く病院ではできない事がえいむでは出来るというのが強みでもある。</p>	<p>医師との連携と、本人・家族の精神的フォローをお願いします。</p> <p>本人も家族も安心して最期を迎えられるのはとても良いと思う。</p> <p>最期に顔を見てすごせる環境があるのはとても良い事だともう。</p> <p>病院だと制約が多い中、柔軟な対応がとれるのは強みだと感じる。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>